

19. 府立千里高等学校の取組み

(1) 学校教育目標(めざす生徒像)

「国際社会や地域社会において持続可能な開発のための目標（SDGs）2030 アジェンダを実践できる人材の育成」

(2) 主な取組みと組織体制の準備

テーマ…『生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）』

探究活動において重要となる考察力は、普通の授業でも培っていく必要があると考えた。考察力の育成ならびに主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業内での「問い」に注目し、“生徒の学びを深める問いとは？（生徒に深く考えさせる問い）”をテーマに、教科を超えた教員間での学び合いや「学びを深める問い」の共有を行うことで、教科の授業力向上をめざした。

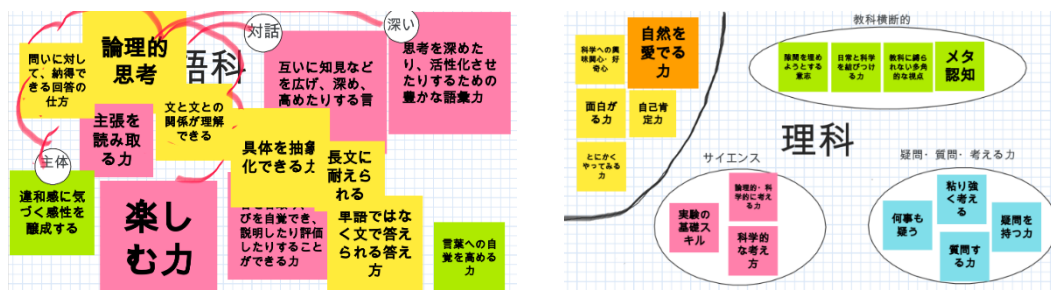
組織体制…令和4年12月に代表教科が共通のテーマで研究授業を実施する授業研究会に向けて、各教科でベテランも初任者も含めた「授業づくりチーム」を構成した。

(3) 主な実践とその工夫

① 教科を超えて学び合う教員集団の形成と、授業研究会のめざす方向性の共有

授業研究会に向けて9月に「授業づくりチーム」を構成した。各教科3名以上のメンバーで構成したことで、研究授業者一人だけではなく、教科として授業研究会の学習指導案を作成することができた。各教科のチームともベテランから初任者までバランスの取れたメンバー構成であったため、授業づくりに向けて、様々な意見を出し合うことができた。授業づくりで悩むことが多い初任者にとっては、いろいろなアドバイスを聞くことができる機会となり、問いを出す意図やタイミング、授業の流れなど、普段では聞くことができないことまで学ぶことができたため、授業研究会に至るまでの過程も含めて、学校全体としては良い研修の場となっていた。

授業研究会のめざす方向性の共有のために、10月に授業づくりチームの教員を対象にした全体研修会を実施した。研修会では教科として生徒に身に付けさせたい力について、各教科授業づくりチームで協議を行い、全体発表を行った。発表の中で教科横断的に複数出てきた力が、千里高校として生徒に身に付けさせたい力であることを確認できた。



[図 研修中のジャムボードの例]

全体研修会を踏まえ、各教科の授業づくりチームが、生徒がより深く考えることができる「問い」の工夫や、「問い」につながる前段階の学習内容等について議論を重ねた。12月の授業研究会では、各教科で様々な「問い」の内容や出し方の工夫があった。授業研究会終了後、問いに対する生徒の反応について研究協議を行った。研究協議には、他教科の教員も参加することとし、教科を超えて深く議論でき

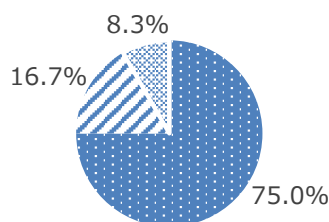
るようにした。最後に各教科の協議会で出た意見を、全体協議の場で共有した。



[各教科の授業研究会の様子]

授業研究会後に実施した教員対象の事後アンケートによると、授業づくりに関わった教員の91.7%が「教師が何を教えるか？」ではなく「生徒に何を学ばせるか？」を意識して今回の授業づくりをしたと答えた。これは全体研修会を行ったことで、授業研究会としての狙いが明確となったことによるものであると考察している。そのため、事後の研究協議だけでなく、全体共有会での他教科の意見や協議内容も自教科のこととして考えられた。

今回の研究授業では、「教師が何を教えるか？」ではなく、「生徒に何を学ばせるか？」を強く意識して授業づくりをしましたか？



■非常に意識した ■やや意識した ×あまり意識しなかった

② 授業研究会の成果

生徒対象の事後アンケートから各教科の研究授業が生徒自身にしっかりと考える機会を作ることができていたことが分かった。また、グループワークを行うことで、生徒が主体的・協働的に活動する場面も多く、普段見ることができない生徒の姿を見ることができたと、見学していた教員からも意見が出ていた。さらに、授業で知識が身についたと実感している生徒が多いこともわかった。

今回、授業研究会のテーマを「深く考えさせる問い」と設定したことにより、教員が授業の中のどの部分を中心に見学すればよいか明確にすることができた。またペアワークやグループワークにおいて、生徒に深く考えさせるために、どのような問いを出しているのかについても各教科で工夫が見られ、教科を越えて共有することができたことで、自身の授業で悩んでいた教員にとっては今後の授業を行ううえでのヒントを得ることができた。

	平均値	
今日の授業では、しっかりと考える場面はありましたか	3.80	*生徒アンケートは、4件法による 「非常に当てはまる」 : 4点 「やや当てはまる」 : 3点 「あまり当てはまらない」 : 2点 「全く当てはまらない」 : 1点
今日の授業では、知識を活用する場面はありましたか	3.60	
今日の授業では、周りの人と協働する場面はありましたか	3.87	
今日の授業では、自ら考えて、課題に取り組む場面はありましたか	3.76	
今日の授業では、知識が身についたと思いますか	3.56	

[生徒対象の事後アンケート結果]

③ 継続的な授業改善に向けて

今年度の取組みを通して、組織的に授業改善に取り組むためには、教員が教科を超えて学び合うことや、研究授業のめざす方向性を共有すること等が重要であると改めて気づく機会となった。千里高校としてめざす生徒の資質・能力の育成に向けて、今年度の研究成果を踏まえつつ、次年度以降も学校全体で授業改善に取り組んでいきたいと思う。